

NEWS LETTER

第11号
2019.1

KIT 男女共同参画推進センター通信

ご挨拶

京都工芸繊維大学長 森迫 清貴

千年の都である京都において、工学の研究・教育を実践する本学は、性別や国籍などにかかわらず、多様な個性や能力を生かしあえる人材育成を行っております。

男女共同参画推進からダイバーシティ推進へ、すべての学生と教員、職員が相互に尊重しあい、新たな創造やイノベーションを生み出すことを目指し、京都から世界へと挑戦を続けております。

これからも学内はもとより、他大学や企業、関係機関、地域のみなさまと連携協力を図りながら、積極的に取り組んでまいります。みなさまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

(平成 30 年 4 月 1 日就任)



ご挨拶

KIT 男女共同参画推進センター長 大柴 小枝子



男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」（男女共同参画社会基本法第2条）です。

KIT 男女共同参画推進センターは、本学の男女共同参画推進の拠点として平成 24 年 10 月に設けられました。以来、コーディネータを配置し、研究とライフイベントとの両立支援、男女共同参画に向けての意識啓発活動、女性研究者ネットワークの構築を取り組みの柱として、女性研究者支援体制の充実や教育研究環境の整備を展開してきました。

具体的な活動としては、研究支援員制度、両立支援相談、ベビーシッター育児支援制度、男女共同参画推進セミナー等を実施してきました。さらに、『KIT 交流サロン』を設置し、女性教職員や女子学生の交流の場として、また、研究や子育て・介護等の情報交換の場として、多くの皆様にご利用いただいています。

平成 27 年度末には、目標としていた女性教員の在籍比率 15%を達成し、今後は、女性上位職の登用・育成を強化し、大学運営に女性の視点をより一層生かしていきたいと考えております。また、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）に配慮し、大学行事等での学内一時保育の試行的実施を含めた介護・子育て支援の充実、さらには、女子学生や院生へのキャリアパスなど次世代研究者の裾野拡大にも重点的に取り組んでまいります。

みなさまからのご意見やご要望をもとに多様な視点で、本学の全ての人々にとって、働きやすく学びやすい環境づくりに当センターを機能させていきたいと考えております。ご協力、ご指導、よろしく願いいたします。

(平成 30 年 4 月 1 日就任)

KIT 男女共同参画推進センター構成メンバー

(平成 30 年 6 月現在)

センター長	大柴 小枝子	情報工学・人間科学系長	寶珍 輝尚
理事・副学長	吉本 昌広	分子化学系教授	亀井 加恵子
理事・事務局長	渡部 英樹	基盤科学系准教授	竹井 智子
副学長・研究科長	前田 耕治	情報工学・人間科学系講師	西崎 友規子
応用生物学域長	原田 繁春	人事労務課長	田中 和代
デザイン科学域長	清水 重敦	総務企画課広報係長	三宅 由華
繊維学域長	鋤柄 佐千子	コーディネータ	森山 文恵

KIT男女共同参画推進センター第12回セミナーを開催しました。 「理系のキャリアデザイン 2018—未来への新しいかたち—」

平成30年11月13日（火）午後、本学60周年記念館2階大セミナー室にて、KIT男女共同参画推進センター第12回セミナーを開催いたしました。

本学分子化学系・亀井加恵子教授の開会挨拶に続き、サントリーウエルネス株式会社健康科学研究所・研究主任の富森菜美乃様に、「やってみなはれ！～自分らしく、何事も～」と題して、ご講演いただきました。

研究所で専門家のいない分野への異動を経験され、「やってみなはれ」の精神で試行錯誤を繰り返しながら専門知識を深め、人脈を広げ、科学的に根拠のある商品（健康食品）を世に出すことをやりがいに研究開発をすすめている姿勢を伺いました。そして同時に結婚、出産、子育てを経験され、「家事は大体でも大丈夫」「無理はしない」など優先順位をつけて仕事と生活のバランスをとられた工夫のしかた、働き方は、これから社会にでる学生のみならず、教職員にとっても参考になるお話でした。

続いて、「関係性と多様性—デザインに大切なこと」と題して、本学卒業生でプロダクト&インタラクションデザイナーでT-D-F代表の園山隆輔様にご講演いただきました。

企業のデザイン部門勤務を経て、フリーランスのデザイン事務所を創設された経緯、デザインがもたらすもの、表現するものを、ロボットデザインを例にお話いただきました。「デザインは特別なものではなく、日常生活を送る人にとっての関わりや意味を『かたち』にすること、人とモノとの『関係性を見える』ようにすること。そしてそれは、選択肢を広げ、『多様性をつくる』こと。多様性は豊かさとも言えます。」とのお話は、生き方・キャリアデザインにも通じるものです。新しい分野への挑戦、これまでにない生き方、多様な働き方など「自分らしいかたち」をデザインする、考える機会となりました。

最後に、KIT男女共同参画推進センター長の大柴小枝子教授が開会の挨拶を行い、セミナーを終了しました。

終了後には隣室に場所を移して意見交換会を行い、参加者が講師の方と研究や仕事の進め方、スキルアップのしかた、人との関わり方、育児との両立の実際などについて語り合い、交流を深めました。

また参加者アンケートでは、「大変参考になった」と「参考になった」があわせて100%を占めました。「研究の内容からワークライフバランスまで多岐にわたって、とてもわかりやすく、学生さんのみならず社会人にとっても勇気づけられる講演でした」、「関係性を形にする、多様性をつくる、についてお話を聞き、大変面白かったです」、「理系学生の将来図が描きにくかったので役にたちました」などの感想が寄せられ、参加者にとって大変有意義な時間となりました。



第12回セミナーチラシ



講師 富森菜美乃氏



講師 園山隆輔氏



第12回セミナーの様子

仕事と生活の両立支援事業

＜育児支援＞「京都テルサ保育園」 共同利用案内

一般財団法人京都府民総合交流事業団が設置し、京都府男女共同参画センターが運営する「京都テルサ保育園」の共同利用を始めました。本学教職員の方は、従業員枠として定員に空きがあれば、随時、利用（入園）することができます。

- ・対象 0歳児、1歳児、2歳児
- ・定員 15名
- ・時間 平日、土曜日 8時～19時（日祝、年末年始は休園）
- ・場所 京都テルサ東館 1F（京都市南区東九条殿田町70）

※詳しい内容は、KIT 男女共同参画推進センターへお問い合わせください。（内線 7757）

＜介護支援＞ WLB 講座 2018 「知って安心！介護保険制度の利用法」

平成30年12月12日（水）午後、教職員を対象にWLB（ワークライフバランス）講座2018「知って安心！介護保険制度の利用法」を、京都市御池地域包括支援センター長の秋山博之様を講師にお迎えして開催しました。

介護保険のしくみ、サービスの利用方法や利用のポイント、相談窓口の紹介、普段からの備えについて、具体的事例を紹介しながら、わかりやすくお話いただきました。

参加者アンケートでは、「大変参考になった」と「参考になった」があわせて94.1%と、高い満足度と介護に対する関心の高さが窺える結果となりました。

参加者からは、「詳しく内容を知らなかったので非常に良い機会となった」や「深刻になりすぎないように介護を続けていきます」、「どのタイミングで専門家に相談したらよいか、大変勉強になった」、「認知症の判断ポイントがよく理解できた」などの感想が寄せられました。



講師：秋山博之氏



WLB 講座の様子

介護関連センター図書のご案内

- ・「これで安心！入院・介護のお金 知らないと損する48のこと」（畠中雅子他・技術評論社 2018年）
- ・「親の介護をする前に読む本」（東田 勉・講談社現代新書 2016年）
- ・「迫りくる『息子介護』の時代」（平山 亮・光文社新書 2014年）
- ・「完全図解 新しい介護（全面改訂版）」（大田仁史他・講談社 2014年）

※センターでご覧いただけます。また、本学教職員の方に貸出しています。是非、ご利用ください。

次世代育成 理系女子の裾野拡大

「女子高校生のためのリケジョ講座」開催

本学オープンキャンパス2018(8月10日・11日)において、昨年度に引き続き「リケジョ講座」を開催しました。応用生物学域(応用生物学専攻)の山岸彩さん、物質・材料化学域(生体分子応用化学課程・機能物質化学専攻)の中上雅子さん、辰巳史帆さん、設計工学域(電子システム工学専攻・情報工学専攻・機械工学専攻)の北澤美紀さん、佐伯理英子さん、細見令香さん、デザイン科学域(デザイン学専攻・建築学専攻)の江夏碧さん、榎本佳乃さん、森岡里奈さんの9名の女子学生が、女子高校生、女子中学生、保護者の方を対象に理系に進んだきっかけや大学での学び、研究内容、大学生活などをわかりやすく紹介しました。

京都工芸繊維大学 オープンキャンパス2018
女子高校生のための
リケジョ講座
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY OPEN CAMPUS
理系って何をするの?どんなことを学ぶの?
リケジョ(理系女子)ってどんな大学生活を送っているの?
女子が少なくてもやってけるの?
理系めだす女子、進路選択に迷っている
女子の必見の講座です。
本学女子学生がご案内します。是非、ご参加ください!
8月10日・11日
10:45-11:45 14:45-15:45
参加無料
リケジョ講座チラシ



女子学生による研究紹介の様子

参加者アンケートでは、「大変参考になった」と「参考になった」が95%以上を占め、大変高い満足度が得られました。「高校から大学入学まで、大学生活や学校外のことなど実体験からのリアルな話が聞くことが出来て良かった」、「学生さんがみんなステキで感動しました!」などの感想が寄せられました。理系への進路選択について、楽しく、おもしろく、そして熱心に女子学生と女子高校生、参加者が交流する機会となりました。

センター提供科目「ジェロントロジー入門」開講

本学では、センター提供科目として「ジェロントロジー入門(超高齢社会のユニバーサルデザイン)」を開講しています。超高齢社会の諸問題を正しく理解し、最先端の技術やデザインで課題を解決する力を身につけます。関根千佳先生(同志社大学客員教授)と、本学の大柴小枝子先生(電気電子工学系教授)が担当しています。

授業の一環として、車イスや視覚障害を疑似体験する眼鏡などを用いてキャンパス内を探検したり、「高齢の家族と行くユニバーサルな京都ツアー」というテーマで発表をしたりしています。プレゼンに対し、両先生やゲストとして参画していただいている車イスユーザーの山本英嗣氏(NPO 法人アイ・コラボレーション理事長)から質問や感想などが出され、議論を深めました。また、MIT やサンデイエゴの国際会議など最新事例の紹介もあり、誰もが快適に暮らせる社会について考えるきっかけとなりました。この授業の様子は、本学 SNS(フェイスブック)にも掲載されました。(URL <https://www.facebook.com/KIT.Kyoto/>)



～応援します! 研究と生活の両立～ ◇◇京都工芸繊維大学 KIT 男女共同参画推進センター◇◇

住所 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町 京都工芸繊維大学 2号館南棟 1階 134号室
TEL・FAX 075-724-7757 (内線 7757)
Eメール sankaku@kit.ac.jp ホームページ <https://www.sankaku.kit.ac.jp/>